

健康

保健福祉課

☎(84)4926

毎年受けて いますか？ 健康診断！！

年に1度の検診を面倒だと思っ人もいるようですが、検診はとても大切なものです。皆さんの身体は、日々頑張つて活動しています。ときには少々無理をしたり、疲れがたまったりしています。そんな身体の状態を年に1度総チェックするのが検診の役割です。特に生活習慣病は自覚症状がない場合が多く、気がついたときには病気がかなり進行していることがあります。自分で気がつきにくい不調のサインを検診で読み取ることが、病気の早期発見には大切なことです。いつまでも健康でいるために、検診は年に1度必ず受けましょう。

明和町のがん検診では、毎年5～6人のがんのかたが見つかっていますが、幸いなことにはほとんどのかたが早期発見・早期治療により全快しています。がんは初期には自覚症状がほとんどありませんので、健康な今こそ勇気を出して検診を受けることが重要です。町では、平成16年度の各種健康診断希望調査を2月中旬に行います。該当者（4月の時点で18歳以上になるかた）には、調査書を配布しますので、受診の有無に関わらず全員のかたが、必ず提出をお願いします。

風しんの予防接種はお済みですか？

昭和54年4月2日、昭和62年10月1日までの間に生まれたかた

風しんは、急性ウイルス感染症です。潜伏期は、2～3週間で、発熱、発しん、頸部リンパ節腫脹などを主徴とし、一般に予後は良好ですが、ごくまれに脳炎や溶血性貧血などを起こすことがあります。また、妊娠中に妊婦が風しんにかかった場合には、出生児が先天性風しん症候群（難聴・先天性心疾患・白内障および網膜症等）を発症する恐れがあります。

昨年の9月に未接種者の経過措置は終了しましたが、希望するかたは主治医にご相談ください。接種は、全額自己負担で予防接種法に基づかない接種にはなりますが、受けられます。

麻しんの予防接種は、1歳の誕生日を迎えたらなるべく早めにお受けしましょう！

麻しんは、小さな子どもがかかりやすい重大な感染症の一つです。麻しんウイルスの飛沫感染によつて起こる病気で、感染性が非常に強い病気で、

です。発熱、発しんを主な症状としますが、ときに肺炎や脳炎などの合併症を引き起こし、命に関わるケースもあります。日本では、今でも毎年50～80人の子どもが麻しんで命を落としています。

麻しんを防ぐには、予防接種を受けることが最も効果的

重症急性呼吸器症候群（SARS）に注意

冬は風邪が流行りやすく、SARSの流行も心配されています。日ごろから手洗い、うがい、人混みを避けるなど感染予防に心がけましょう。

SARSに感染したか心配な場合は、まずは次の相談窓口にお電話してください。

館林保健福祉事務所

ですので、1歳を過ぎたら早めにお受けしましょう。遅くなつた場合でも保育園や幼稚園などの集団生活に入るまでには必ず受けておきましょう。満7歳半までは、公費で予防接種を受けることができます。

平日 8時30分～17時15分
☎72 3230
SARSホットライン
毎日 8時30分～17時15分
☎027 224 8200

SARSが疑われるのは、10日以内にSARS流行地域から帰国するか、SARS患者と濃厚な接触のあつたかたで、38以上の発熱、せきまたは、息切れ等の呼吸器症状があるかたです。

平成16年各種健康診断

検診名	時期	料金
総合健診（基本健診とすべてのがん検診を同時に実施）	5月	男 500円 女 1,300円
基本健診	5月	無料
大腸がん検診	5月	500円
肺がん検診	5月	無料
前立腺 ^{せん} 検診	5月	無料
婦人科・乳腺甲 状腺検診	6～7月	婦人科 500円 乳・甲 300円
乳房X線撮影 （50歳以上偶数年）	7月	500円
骨密度検診	9月	無料